

Fund Report

日本株厳選ファンド

■円コース ■ブラジルリアルコース ■豪ドルコース ■アジア3通貨コース
■米ドルコース ■メキシコペソコース ■トルコリラコース

追加型投信/国内/株式 ※課税上は株式投資信託として取り扱われます。

1月分配金について

日頃より『日本株厳選ファンド』をご愛顧賜り誠にありがとうございます。

当ファンドでは1月10日に決算を行い、基準価額の水準、分配可能額（分配対象額）、市場動向等を総合的に勘案し、当期（第6期および第31期）の分配金を以下の通り決定しました。

1月の分配金（税引前、1万口あたり）を各々以下の通り決定しました。

第6期		第31期	
米ドルコース	20円	円コース	20円
メキシコペソコース	40円	ブラジルリアルコース	120円
トルコリラコース	60円	豪ドルコース	100円
		アジア3通貨コース	100円

昨年4月に分配金を引き上げた後も、日銀の大胆な金融緩和策等を背景に株高・円安が進み、当ファンドは各コースとも基準価額が上昇し分配可能額（分配対象額）が増加しました。そのため各コースの分配金を引き上げることが適当と判断しました。

当ファンドは引き続き、わが国の株式を実質的な主要投資対象とするとともに、為替取引*を行うことで信託財産の成長を目指して運用してまいります。

*円コースでは為替取引は行いません。

<分配金実績>

分配金実績（2014年1月10日現在） 直近6ヵ月分

	2013/8/12	2013/9/10	2013/10/10	2013/11/11	2013/12/10	2014/1/10	設定来
円コース	10円	10円	10円	10円	10円	20円	110円
ブラジルリアルコース	100円	100円	100円	100円	100円	120円	2,280円
豪ドルコース	60円	60円	60円	60円	60円	100円	1,270円
アジア3通貨コース	80円	80円	80円	80円	80円	100円	1,345円
米ドルコース	-	-	0円	0円	0円	20円	20円
メキシコペソコース	-	-	30円	30円	30円	40円	130円
トルコリラコース	-	-	50円	50円	50円	60円	210円

※収益分配金は税引き前1万口あたりの金額です。

※収益分配金は、基準価額水準、市況動向を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合には分配を行わないことがあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

出所：大和住銀投信投資顧問作成

7ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください。

1/9

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

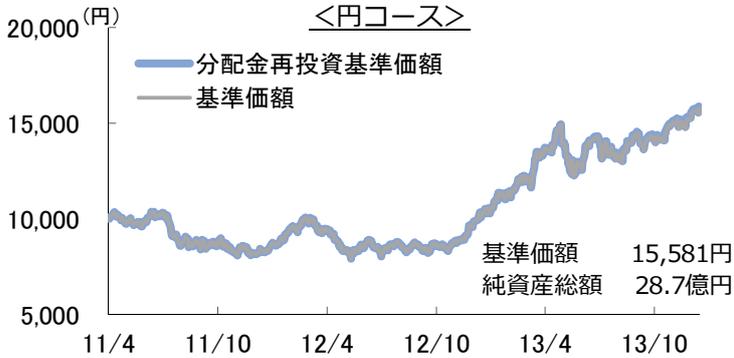
Fund Report

日本株厳選ファンド

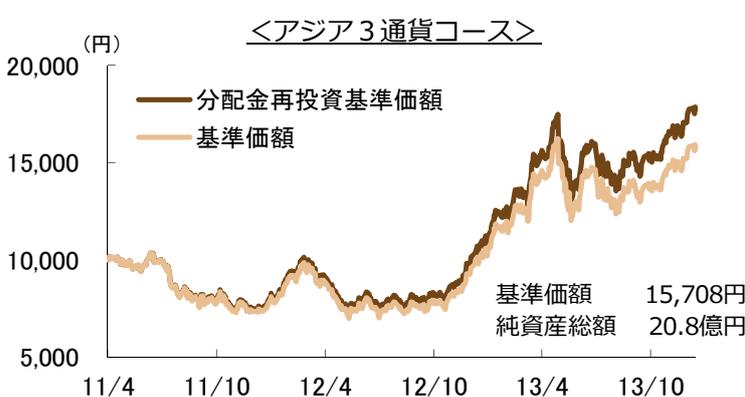
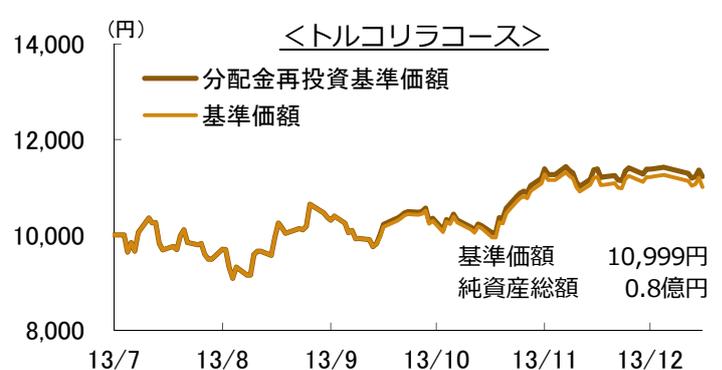
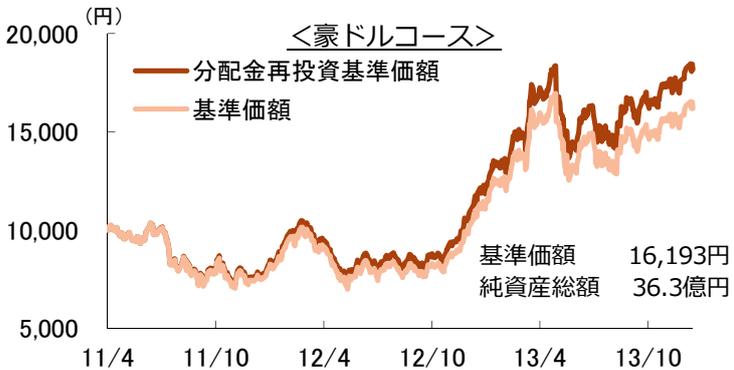
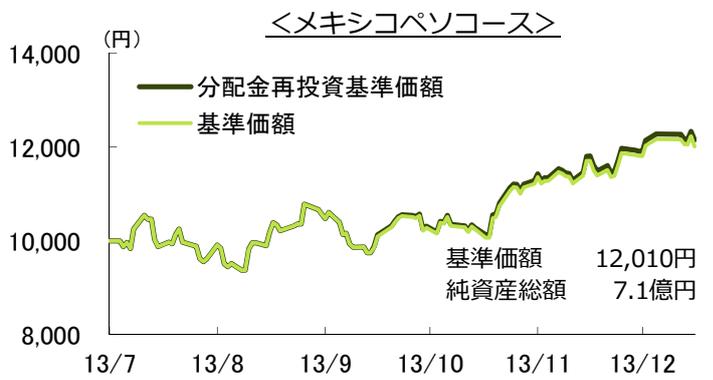
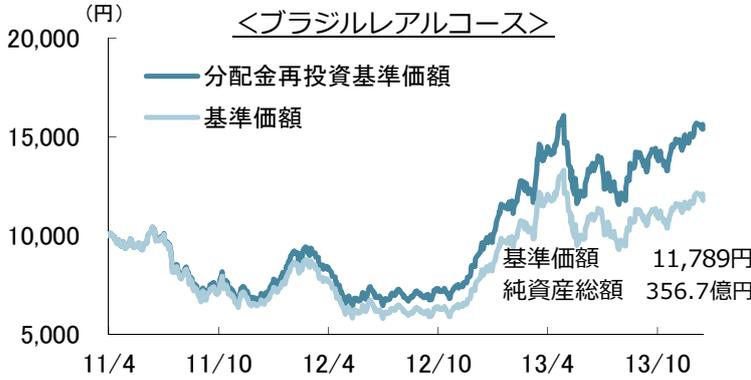
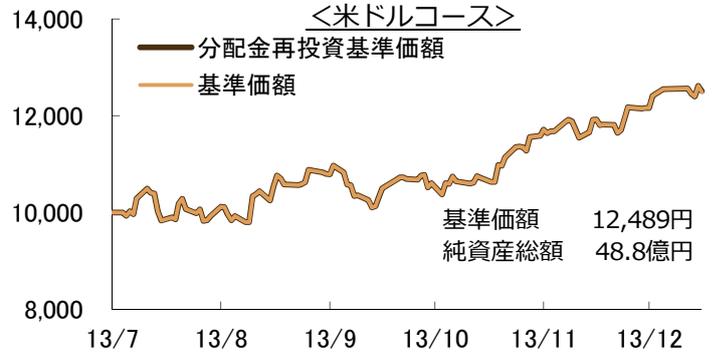
- 円コース
- ブラジルリアルコース
- 豪ドルコース
- アジア3通貨コース
- 米ドルコース
- メキシコペソコース
- トルコリラコース

<各コースの基準価額の推移>

<基準価額グラフの期間：2011/4/26～2014/1/10>



<基準価額グラフの期間：2013/7/26～2014/1/10>



※基準価額は信託報酬控除後のものです。
 ※分配金再投資基準価額とは、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資したものと修正した価額です。
 ※上記データは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

出所：大和住銀投信投資顧問作成

7ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください。

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

Fund Report

日本株厳選ファンド

- 円コース ■ブラジルリアルコース ■豪ドルコース ■アジア3通貨コース
- 米ドルコース ■メキシコペソコース ■トルコリラコース

<日本株と各コース投資対象通貨の動向・見通し>

<日本株>

- 2013年の日本株市場は、5月以降、海外市場が新高値を更新する中で一進一退を続けていました。しかし、年末にかけて円安の進行や外国人投資家の買いを背景に年初来高値を更新し、世界の主要株式市場の中でベストパフォーマンスとなりました。
- 国内株式市場は、景気・企業業績の回復等を背景に基調として上昇すると予想します。4月の消費税増税による消費マインドの悪化から、春ごろの株価は上値の重い展開が予想されます。もう一段の株価上昇のためには日銀による追加緩和が必要です。2015年10月にも再度消費税増税が予定されているため追加の景気刺激策も不可欠です。政府主導による景気刺激策への期待から、年後半にかけて日本株市場は再び上昇トレンドに入ると予想されます。

<ブラジルリアル>

- 2013年は米国の量的緩和縮小が意識され、新興国市場から資金が流出、新興国通貨は総じて売られる展開となりました。特に経常赤字幅の大きい国々の通貨に対する売り圧力は衰えず、ブラジルリアルも一時1米ドル=2.4リアル台まで下落しました。ブラジル金融当局は、国内景気が低迷する中、高インフレ率や通貨安を抑制するため合計2.75%の利上げと為替介入を続けましたが、12月のFOMCで米国の量的緩和縮小が決定され、足元のリアルは対米ドルで再び2.4リアル近辺に下落しています。
- 米国景気の回復は続き、量的緩和縮小開始を材料に新興国市場から資金が流出しやすいう状況が続くと思われま。ブラジルをはじめ経常赤字幅の大きい国の通貨は引き続き通貨安となる可能性があり、注意が必要です。2014年に入り中銀が介入幅を縮小したこともリアルの下押し材料です。但し、市場の米国金融政策に対する予想が変化する中で買い戻される場面も想定されます。円安の進展が予想されることから、対円では底堅く推移すると思われま。

<豪ドル>

- 2013年、オーストラリア準備銀行（RBA）は低迷する国内景気を下支えし、通貨高を抑制するため、政策金利を過去最低の2.50%に引き下げました。RBA総裁が通貨高を牽制する発言を繰り返し、追加利下げの可能性や豪ドルの適正水準に言及したことなども嫌気され、豪ドルは対米ドルで下落傾向を辿りました。対円では、2013年10月以降円安が進行したため、概ね横ばいで推移しています。
- これまでの利下げの効果などから個人消費や住宅市場は堅調ですが、RBAの豪ドル高に対する牽制が重石となり、当面、豪ドルが本格的に反発する展開にはなり難いと思われま。一方、中長期的に円安が予想されることから、対円では底堅く推移すると思われま。

<アジア3通貨>

- 2013年は、対米ドルでは中国元が上昇した一方、米国の量的緩和縮小観測を背景に新興国市場から資金が流出し、インドルピー、インドネシアルピアは軟調に推移しました。特にインドネシアルピアは約5年ぶりとなる水準まで売られました。
- 対米ドルでは、米国の量的緩和縮小の開始を背景に、経常赤字幅の大きいインドやインドネシアが引き続き通貨安となる可能性があります。他方、中国元は堅調に推移すると予想され、総じて円安の進行から対円では底堅く推移すると思われま。

※当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、運用担当者（ファンドマネジャー他）の見方あるいは考え方等を記載したもので当該運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものでもありません。

7ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください。

3/9

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

Fund Report

日本株厳選ファンド

■円コース ■ブラジルリアルコース ■豪ドルコース ■アジア3通貨コース
■米ドルコース ■メキシコペソコース ■トルコリラコース

<米ドル>

- 2013年10月以降、良好な経済指標を背景に量的緩和縮小が意識され、米ドルは対円で堅調に推移しました。12月のFOMCでは量的緩和の縮小開始が決定されたことから、米ドルの先高感が強まっています。
- 中長期的に米国景気は拡大が続くと見込まれます。量的緩和の縮小が段階的に進められ、米ドルは他通貨に対して緩やかに上昇すると思われます。

<メキシコペソ>

- 2013年5月以降、米国の量的緩和縮小が意識され、新興国通貨が総じて売られる中、メキシコペソも一時軟調に推移しました。しかし年末にかけて量的緩和縮小が決定されると、他の新興国通貨は弱含んだもののメキシコペソは相対的にしっかりとした推移となりました。メキシコ中央銀行は景気の下支えを目的として9月、10月と政策金利を連続して引き下げましたが、10月会合の声明文で、景気が持ち直しつつあることから利下げの打ち止めを示唆しました。その後、政策金利は据え置かれた状態が続いています。
- 最大の貿易相手国である米国景気が良好に推移していることから、メキシコの景気についても、米国景気の恩恵を受けて本格的な回復軌道に入る可能性が増してきていると考えます。また、エネルギー改革に関する法案が可決されるなど、ペニャニエト政権の改革が進展していることもメキシコペソの支援材料です。

<トルコリラ>

- 2013年は、米国の量的緩和縮小観測から新興国通貨が売られ、トルコリラも軟調に推移しました。年末にかけては、エルドアン政権の閣僚親族らの汚職疑惑をめぐり政局が混乱し、政治不安からトルコリラは最安値を更新しました。
- 米国の量的緩和縮小の開始を材料に新興国市場から資金が流出しやすい状況が続くと見られ、トルコなど経常赤字幅の大きい国の通貨は引き続き通貨安となる可能性があり、注意が必要です。政治不安の払拭には時間がかかることが見込まれ、当面トルコリラが本格的に反転する展開にはなり難いと見られます。

※当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、運用担当者（ファンドマネジャー他）の見方あるいは考え方等を記載したもので当該運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものでもありません。

7ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください。

4/9

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

Fund Report

日本株厳選ファンド

■円コース ■ブラジルリアルコース ■豪ドルコース ■アジア3通貨コース
■米ドルコース ■メキシコペソコース ■トルコリラコース

ご参考

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

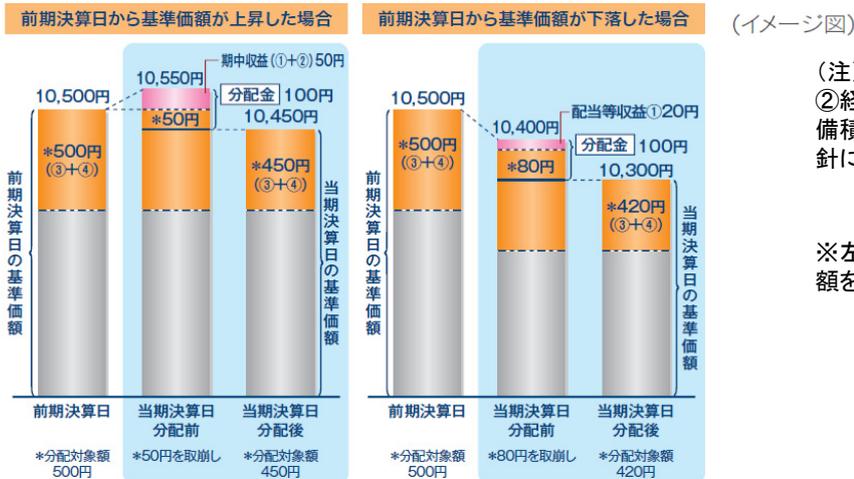
投資信託で分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。

- この場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

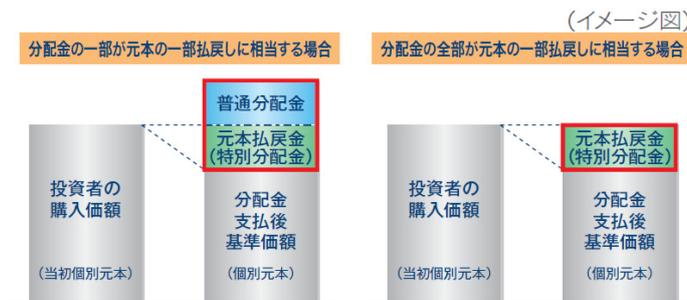
分配金が計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※左記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。普通分配金: 個別元本(投資者のファンド購入価額)を上回る部分からの分配金です。元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。(注)普通分配金に対する課税については、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

※上記は投資信託における「収益分配金に関する留意事項」を説明するものであり、当ファンドの分配金額や基準価額を示すものではありません。

7ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください。

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

Fund Report

日本株厳選ファンド

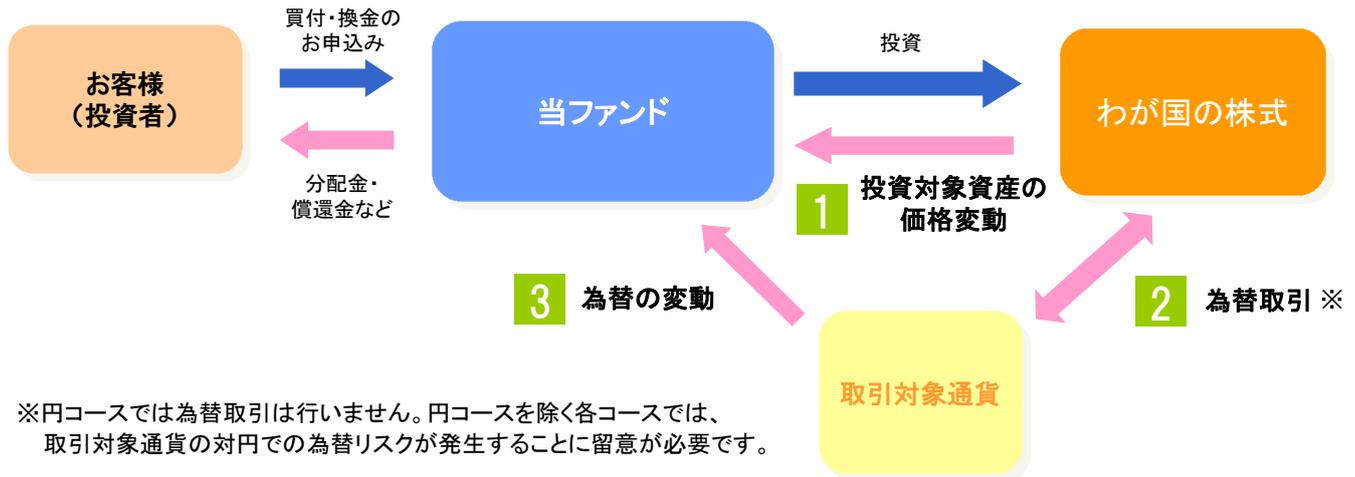
■円コース ■ブラジルリアルコース ■豪ドルコース ■アジア3通貨コース
■米ドルコース ■メキシコペソコース ■トルコリラコース

ご参考

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

当ファンドは主にわが国の株式への投資に加えて、為替取引の対象として5つの通貨および1つの通貨バスケットからも選択できるように設計された投資信託です。

◎当ファンドのイメージ図



当ファンドの収益の源泉は、以下の3つの要素が挙げられます。

これらの収益の源泉に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

収益の源泉	収益を得られるケース	損失やコストが発生するケース
<p>1 わが国の株式の配当収入、値上がり/値下がり</p>	<p>株価上昇</p> <p>企業利益の増加</p> <p>財務状況の改善</p> <p>など</p>	<p>株価下落</p> <p>企業利益の減少</p> <p>財務状況の悪化</p> <p>など</p>
<p>2 為替取引によるプレミアム/コスト(注)</p>	<p>プレミアム(金利差相当分の収益)の発生</p> <p>取引対象通貨の短期金利 > 円の短期金利</p>	<p>コスト(金利差相当分の費用)の発生</p> <p>取引対象通貨の短期金利 < 円の短期金利</p>
<p>3 為替差益/差損(注)</p>	<p>為替差益の発生</p> <p>取引対象通貨に対して円安</p>	<p>為替差損の発生</p> <p>取引対象通貨に対して円高</p>

(注)円コースでは為替取引を行わないため、円コースにおける収益の源泉は「わが国の株式の配当収入、値上がり/値下がり」となります。

※過去の事実から見た一般的な傾向を表したものであり、上図のとおりにならない場合があります。

7ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください。

6/9

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

Fund Report

日本株厳選ファンド

- 円コース ■ブラジルリアルコース ■豪ドルコース ■アジア3通貨コース
■米ドルコース ■メキシコペソコース ■トルコリラコース

<ファンドの目的>

[円コース]

わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行います。

[ブラジルリアルコース、豪ドルコース、アジア3通貨コース、米ドルコース、メキシコペソコース、トルコリラコース]

わが国の株式を実質的な主要投資対象とするとともに、為替取引を行うことで信託財産の成長を目指して運用を行います。

<ファンドの特色>

1. 主としてわが国の株式の中から、割安と判断される魅力的な銘柄に厳選して投資することで、信託財産の成長を目指します。
2. 円コースおよび為替取引を活用する6つの通貨コース（ブラジルリアルコース、豪ドルコース、アジア3通貨コース、米ドルコース、メキシコペソコース、トルコリラコース）による7本のファンドから構成されています。
 - ・各コース間でスイッチングが可能です。
 - ※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いがない場合があります。
 - ※スイッチングのお取扱いについては、各販売会社までお問い合わせください。
3. 毎月の決算時に収益の分配を目指します。
 - ・決算日は毎月10日（休業日の場合は翌営業日）とします。
 - ・分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
 - ・収益分配金は、基準価額水準、市場動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合等には、分配を行わないことがあります。
 - ・将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

<投資リスク（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）>

- 当ファンドは、投資信託証券を通じて実質的に株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、円コースを除く各コースは、投資信託証券を通じて、実質的に為替取引を行うため、為替の変動による影響も受けます。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
 - 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
 - 投資信託は預貯金と異なります。
 - お申込みの際には、販売会社からお渡します「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身で判断ください。
 - 基準価額を変動させる要因として主に、■株価変動に伴うリスク ■為替リスク（円コースを除く） ■信用リスク ■流動性リスク があります。
- ただし、上記はすべてのリスクを表したものではありません。

7ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください。

7/9

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

Fund Report

日本株厳選ファンド

- 円コース ■ブラジルリアルコース ■豪ドルコース ■アジア3通貨コース
- 米ドルコース ■メキシコペソコース ■トルコリラコース

<ファンドの費用（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）>

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料 購入価額に**3.675%(税抜3.5%)を上限**として販売会社毎に定めた率を乗じて得た額とします。
※詳細については、お申込みの各販売会社までお問い合わせください。
- 信託財産留保額 ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬） 毎日、信託財産の純資産総額に**年率1.49625%(税抜1.425%)**を乗じて得た額とします。運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
※当ファンドが投資対象とする投資信託証券では、管理報酬等が年率0.18%程度かかりますので、当ファンドにおける実質的な運用管理費用(信託報酬)は**年率1.67625%(税込)程度**です。ただし、投資対象の投資信託証券の管理報酬等には関係法人により下限金額が設定されているものがあります。
- その他費用・手数料 信託財産の財務諸表の監査に要する費用は、毎日、信託財産の純資産総額に年率0.009975%(税抜0.0095%)以内の率を乗じて得た額とし、各特定期末または信託終了時に信託財産から支払われます。その他、有価証券売買時の売買委託手数料、それらに対する消費税等相当額、組入資産の保管費用等は、取引または請求のつど、信託財産から支払われます。これらの費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※当該手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

<お申込みメモ（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）>

- 信託期間 [円コース、ブラジルリアルコース、豪ドルコース、アジア3通貨コース]
平成23年4月26日から平成28年5月10日(約5年)
[米ドルコース、メキシコペソコース、トルコリラコース]
平成25年7月26日から平成28年5月10日(約3年)
- 購入単位 販売会社がそれぞれ定めた単位とします。
※お申込みの販売会社までお問い合わせください。
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金単位 販売会社がそれぞれ定めた単位とします。
※お申込みの販売会社までお問い合わせください。
- 換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金代金 換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
- 購入・換金申込 受付不可日 ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、英国証券取引所またはロンドンの銀行の休業日と同日の場合はお申込みできません。
- 決算日 毎月10日(該当日が休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 年12回の決算時に分配を行います。

7ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください。

8/9

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

Fund Report

日本株厳選ファンド

■円コース ■ブラジルリアルコース ■豪ドルコース ■アジア3通貨コース
■米ドルコース ■メキシコペソコース ■トルコリラコース

<投資信託に関する留意点>

- 投資信託をご購入の際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。
投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の本支店等にご用意しております。
- 投資信託は、元本保証、利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。
- 投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

<委託会社およびその他の関係法人>

■委託会社(ファンドの運用の指図を行う者)

大和住銀投信投資顧問株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

■受託会社(ファンドの財産の保管及び管理を行う者)

三井住友信託銀行株式会社

■販売会社

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMBCフレンド証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第40号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	
オーストラリア・アンド・ニューージーランド・バンキング・グループ・リミテッド(銀行)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第622号	○			
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第3号	○			
寿証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第7号	○			
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第8号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	○			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号	○			
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号	○		○	
日の出証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第31号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第134号	○			
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第20号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第20号	○			
明和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第185号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○		○	

※販売会社によっては、お取扱いを行っていないコースがあります。詳しくは各販売会社にお問い合わせください。

(50音順)

※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いがありません。詳しくは各販売会社にお問い合わせください。

7ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください。

9/9

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。